

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(岡田海苔株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・障害、性別、年齢などによる差別のない採用・就業体制を構築している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・新入社員向けの外部講習を利用しハラスメント教育を実施している ・日々の業務の中で就業規則に関する社員指導を行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・専門家の指導のもと労働基準法の内容確認を行っている ・新規雇用により適正な人員配置を実施し、長時間労働とならないようにしている ・業務終了後の早期退社を促し、社員のワークライフバランスに貢献している								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【非該当】		・外国人雇用の実績は無い				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5 人権・労働	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・作業マニュアルに基づき、機械類の作業前点検を実施し事故防止につとめている ・食品安全チームが中心となり、工場内の整理整頓・環境整備を行い、安全に作業ができるよう努めている ・空調機器の更新により快適な作業環境を提供している			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・心配事等がある場合は上司や同僚に相談できる体制をとっている ・部門ごとの懇親会の開催等により社内の親睦が図られている			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・従業員それぞれの能力、立場を考慮した適正な配置を行っている ・育児・介護休業規定により、子育てや介護がしやすい職場環境を整備している ・定年後の再雇用制度を設ける等、高齢者の雇用に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・定期的な社内教育を行っている ・職務や役割に応じ、セミナーや展示会への参加を行い能力開発につなげている ・SDGsについての勉強会を実施している				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・雇用形態に関わらず、作業や習熟度にあつた賃金体制を構築している ・法律に基づき適正な取り扱いを実施している					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・従業員に定期的な健康診断を実施している			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・廃棄物の管理規定を策定している ・法律に従い廃棄物の分別保管、適正廃棄を実施している											11.6 12.4		14.1				
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・当社全体のエネルギー使用量及びCO2排出量を、月次で把握している							7.3						13				

環境	13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	【予定】	・毎月点検業者と消費電力について協議を行い、省エネに取り組んでいる ・工場照明のLED化を進めている ・一部インターネットを活用した受注により省エネ・省資源に努めている ・【予定】自社のCO2排出量削減に取り組む ・【予定】営業車を低燃費車両へ切り替えていく					7.2 7.3					12.4	13.3			
	14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】	・有害化学物質の取扱いは無い			3.9		6.3				11.6	12.4				

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
環境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境に配慮したバイオマスインキ使用資材を導入 ・紙フィルム(プラスチック低減品)資材を導入し、環境保全に取り組む							6.6								15		
	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・包装資材等の適正在庫管理により、廃棄ロスにつな げている ・規格外品の別商品への活用により廃棄ロスにつな げている ・再利用できる木箱の使用により段ボールの使用量を 減らしている											12.5	14.1					
	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレ ンジ			・従業員に節水を呼び掛け、意識を高めている							6.4 6.6										
	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得して いる	チャレ ンジ							3.9			6	7				12	13.3	14	15		
	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレ ンジ			・環境情報やSDGsについて当社HP等で情報発信して いる												12.6					
	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレ ンジ											7.2					13				
11	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレ ンジ			・資材・備品等についてグリーン調達を行っている												12.2	13	14	15		
公正な 事業 慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に明記し、従業員に周知している ・就業規則を順守している																16 16.5	
	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・就業規則に明記し、従業員に周知している ・就業規則を順守している																16	
	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・商標登録等、知的財産権の取得・管理をしている ・新商品開発の際は商標登録の調査を行い、知的財 産の侵害等がないように努めている								8.2 8.3	9								
	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			・管理責任者を選任し、個人情報の漏洩防止に努め ている ・就業規則に明記し、従業員に周知している																16	
	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレ ンジ			・紛争鉱物の取扱いはない																16	
	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系 への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防 止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレ ンジ			・購買管理マニュアルを制定し、サプライヤーの評価 及び選定を行っている					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表してい る	基本	【非該当】		・下請けをしていない ・受注者の要望を受け入れている				3				8	9	10							17

[illegible]

42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレン ジ			・食品安全上の事故管理マニュアルを策定し、適切な 対策を講じている ・原材料について代替品の調達可能な先を選定 し、災害発生時も事業継続に支障が無いようにしてい る									9		11		13 13.1			16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレン ジ			・後継者の育成に努めている								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定